

令和7年度

デジタル化ステップアップ

PROGRAM

事例集

現場から変える！デジタル化支援で持続成長へ

事業概要

本事業は、市内中小企業・小規模事業者等に対して、デジタル化の進展に向けた意識醸成を行いつつ、デジタル化を推進する人材育成とデジタルツールの導入・活用による業務の効率化を支援するとともに、その成果を広く周知することで、デジタル化の進展への意欲を持つ企業の増加を図ることを目的として実施しました。福岡市が主催する「福岡市デジタル化ステップアップPROGRAM（デジタル化フルサポートプラン）」として、専門家による個別支援・グループ研修・オンデマンド学習を組み合わせた無料の総合支援プログラムを実施しました。

支援の3本柱

本プログラムは、専門家による個別支援を核としながら、グループ研修・オンデマンド学習の3つのメニューを組み合わせた総合的な支援体制を構築しました。企業の習熟度や課題に応じて柔軟に活用できる環境を整え、デジタル化に強い企業づくりを多角的にサポートしました。

1. 伴走支援

経験豊富な専門家が企業ごとの課題に応じてアドバイス。
ツール選定から導入・活用改善まで、個別サポートを実施。

2. グループ研修

課題発見・業務フロー図作成・AI活用の実践など、他企業担当者とのグループワークで必要な知識を習得。
全4回開催。

3. オンデマンド学習

AI・SNS・マーケティングなど約60種類の動画講座を無料提供。
「いつでも・どこでも・何度でも」学べる環境を整備。

支援概要

実施内容	①専門家による伴走支援 ②グループ研修
支援日程	前期：令和7年7月～11月 後期：令和7年11月～令和8年3月
定員	60社（前期25社・後期35社）
参加費	無料
参加対象	福岡市内の中小企業・小規模事業者等

事例紹介

- 株式会社 EARTH ELECT（電気工事・訪問看護業）
『訪問看護における月締め業務のデジタル化』 1
- 株式会社福実（建設・土木舗装業）
『AIで施工計画書を作成する』 2
- FPオフィス福岡株式会社（金融コンサル業）
『レッドオーシャンFP業界でのデジタル戦略』 3
- 合同会社トラベルケアふくおか（生活関連サービス業）
『公式LINEとHP改修で実現する「相談しやすい」移動支援』 4
- 光栄テクノシステム株式会社（金属製品製造業）
『コミュニケーションツールで仕事をスムーズに』 5
- 株式会社K・コーポレーション（建物メンテナンス業）
『スマホ×Googleフォームで実現するデジタル化への第一歩』 6

CASE STUDY 1

電気工事・訪問看護業

株式会社EARTH ELECT

訪問看護事業：株式会社EARTH OCEAN



所在地 福岡県福岡市博多区浦田2丁目20-1

公式サイト

テーマ

訪問看護における月締め業務のデジタル化 集計作業を自動化し、現場の負担を抜本的に削減

支援前の課題

集計の多大な工数

訪問件数の月次集計が手作業中心で、担当事務員に多大な時間と負荷がかかっていた。

ミス発生リスク

手入力・転記による集計のため、計算ミスや記入漏れが生じやすく、正確性の確保が難しかった。

自力DX化の困難

日々の業務に追われる中、デジタル化の方向性や手段が分からず、改善に踏み出せずにいた。

支援内容・プロセス

01

業務フロー把握と課題整理

事務員2名の業務をヒアリング。紙管理による属人化と「言った言わない」問題を特定。

02

事務処理詳細とツール検討

月間事務リスト40項目を精査し「Asana」のデモで業務可視化を実演。

03

管理ソフト連携と自動化方針

管理ソフト「カイボケ」のCSVをGASで集計自動化する仕組みの方針を決定。

04

GASによる自動集計構築

「訪問件数リスト」「シフト表」を自動生成するプログラムの構築を実務支援。

05

AI活用レクチャーと最終確認

GeminiでのGAS修正方法を共有。新データの入力手順を確認し、自走体制を整備。

支援後の成果と今後の展望

集計作業時間

▲75%

入力時間
1時間 → 10~20分

自動化

転記ミス

ゼロへ

訪問件数の月次集計をGASで自動化し、作業時間を1時間から10~20分へと大幅に短縮。転記ミスのリスクも排除。今後は安定運用を経て他の月次業務への展開も目指す。

CASE STUDY 2

建設・土木舗装業

株式会社福実

所在地 福岡市東区美和台3丁目3-8



公式サイト



テーマ

AIで施工計画書を作成する

～建設業における書類作成の抜本的な効率化と現場代理人の負担70%削減を実現～

支援前の課題

書類作成の重い負担

現場代理人の業務の7割以上を書類作成が占めており、現場業務に集中できる時間の確保が困難だった。

資料検索の非効率

工事ごとに膨大な資料から管理基準を探し出す作業に多くの時間を費やし、経験値の差が影響していた。

AI活用の入口段階

AI活用の有用性は認識していたが、建設書類への具体的な運用手順が、不明確で導入できずにいた。

支援内容・プロセス

01

課題抽出とAI活用の方向性

施工計画書作成の負担をヒアリング。AI活用による書類作成の自動化・効率化を支援の軸に設定。

02

NotebookLM導入と試作

過去の計画書をAIに学習させ、出来形管理・品質管理の項目を自動生成するデモを実施。

03

実案件でのAI生成と調整

実際の工事案件を対象にAIで品質管理・出来形管理・写真管理項目を作成し、精度の検証と修正アドバイスを実施

04

プロンプト雛形の作成支援

誰でも同精度で出力できるよう、建設用語に特化したプロンプトテンプレート化を指導。

05

外部ツール活用と運用定着

PDF結合・加工手順を共有。社内でのAI運用ルールを確立し、継続的な自走体制を構築。

支援後の成果と今後の展望

書類作成時間

▲70%

計画書作成時間（目標）

80時間
→ 24時間

労働生産性

+70%以上

施工計画書作成時間を80時間から24時間（目標）へ削減し、労働生産性70%以上の向上を見込む。今後は管理項目全般へのAI活用を拡大し、積算資料作成への挑戦と地域での差別化を目指す。

CASE STUDY 3

金融コンサル業

FPオフィス福岡株式会社

所在地 福岡市中央区天神2丁目2-12 T&J ビルディング 7F



公式Instagram



FPオフィス福岡(株)

テーマ

レッドオーシャンFP業界でのデジタル戦略 紹介頼みの集客から「特定の悩み層」へのインバウンド体制へ転換

支援前の課題

HPなし・認知不足

公式HPが存在せず、インターネット経由での認知拡大やインバウンド集客（問い合わせからの受注）の手段がない状態だった。

現場のデジタル抵抗

SNS発信が散発的で競合との差別化が図れず、潜在顧客へのリーチが限定的だった。

紹介依存からの脱却

新規集客が紹介に偏り、安定した見込み客の獲得導線が整備されていなかった。

支援内容・プロセス

01

集客導線設計とロードマップ

事業内容をヒアリングし、メディア露出を視野に入れた企業ブランディングとHP制作の全体像を決定。

02

戦略図提示とHP・SNS連携

独自理論に基づく集客ファネルを提示。ターゲットの悩みを深掘りし、訴求内容を具体化。

03

SEOとLINE/メルマガ構築

「FP 福岡」での上位表示に向けたキーワード選定と、LINE公式アカウントによる顧客育成を整備。

04

コンテンツ制作とMEO強化

HP掲載用「パワーワード」の選定とGoogleマップ口コミを増やす運用ルールを助言。

05

最終確認と運用体制整備

完成後のHPの運用フローを確認。専門家としての信頼性を高めるデジタル基盤の自走体制を確立。

支援後の成果と今後の展望

インバウンド集客

体制確立

強化

SEO・MEO

構築完了

LINE 活用

戦略的なHP構築と集客ファネルの整備により、**紹介頼みから「特定の悩み層」を惹きつけるインバウンド体制へ転換**。今後はテレビ出演等のメディア露出を強化し、デジタルマーケティングの完成度を高めていく。

CASE STUDY 4

生活関連サービス業

合同会社トラベルケアふくおか 介護タクシー／介護付き旅行

所在地 福岡市早良区飯倉6丁目20番17-503



公式サイト

Travelcareふくおか

テーマ

公式LINEとHP改修で実現する「相談しやすい」移動支援 電話依存から24時間対応のデジタル予約体制へ

支援前の課題

電話予約への依存

予約が電話中心のため、移動中・夜間などに連絡できずサービス利用を諦めるケースが発生していた。

予約確定までの不安

HP問い合わせフォームに自動返信がなく、予約が確定したか分からないまま待つ顧客の不安が生じていた。

機会損失と情報ミスマッチ

一人での対応による機会損失と、サービス情報が適切に届かないことによるミスマッチが発生していた。

支援内容・プロセス

01

予約体制ヒアリングと課題特定

介護タクシー予約の現状を確認。電話依存からの脱却とLINE公式アカウント活用の方角で合意。

02

LINE統合と自動配信設定

リッチメニューにタクシー予約・ツアー情報を集約。初回クーポン配布と自動応答の基盤を構築。

03

リッチメニュー制作と高度化

クラファン誘導・「お客様の声」ボタンを設置。使い勝手を重視したデザイン改修と機能追加を実施。

04

HP導線改善と多言語化検討

インバウンド需要を見据えたHP改修を協議。予約ボタン配置変更と自動返信ツールの導入を検討。

05

返信システム運用テスト

Zapierを用いたHP問い合わせの自動返信を実装。LINEとの一元管理による効率化を最終確認。

支援後の成果と今後の展望

問い合わせ件数

+20%

やり取り時間

▲30%

問い合わせ確認作業

消滅

問い合わせ件数20%増・やり取り時間30%削減（目標）を達成。自動返信により確認作業のストレスが消滅し、顧客の安心感が向上。地域No.1の窓口を目指し、全ての要介護者に自由な移動環境を提供し続ける。

CASE STUDY 5

金属製品製造業

光栄テクノシステム株式会社

所在地 福岡市東区松島6-15-30



公式サイト



テーマ

コミュニケーションツールで仕事をスムーズに
部署間の連絡不備を解消し、タスク管理によるトラブルゼロへ

支援前の課題

部署間の連絡不備

部署間の連絡が不十分なためトラブルや進捗の不透明さが発生し、対応の遅れや二度手間が生じていた。

役割分担の不明確さ

展示会など社内プロジェクトで誰が何をいつまでに行うかが曖昧で、抜け漏れや遅延が繰り返されていた。

ITリテラシーの差

アナログ業務からの脱却とITリテラシーの底上げが急務だったが、社内で推進できる人材が不足していた。

支援内容・プロセス

01

現状課題確認と目標設定

経理改善や部署間の連絡不備をヒアリング。DX推進による業務効率化のゴールイメージを共有。

02

幹部共有とツール選定

営業・製造間の情報共有不足を解消するため、ChatworkとBacklogの導入検討を開始。

03

少数チームでの試験運用開始

特定プロジェクトでBacklogを試行。タスクの納期・担当者の明確化による効果を検証。

04

業務フロー可視化とタスク化

展示会準備等のフローを整理。「誰が何をいつまでに」をツール上で管理する習慣を定着。

05

振り返りと全社展開計画

代理店案件での活用定着を確認。ITセキュリティ強化と全社的な有料版導入の方針を決定。

支援後の成果と今後の展望

Backlog使用率

導入後 **50%**

トラブル件数

低減

タスク管理

社内浸透

代理店とのやり取りにBacklogが定着（使用率50%）し、タスク管理の浸透でトラブルが低減。今後はITセキュリティのさらなる強化と、全案件でのプロジェクト管理徹底を目指す。

CASE STUDY 6

建物メンテナンス業

株式会社K・コーポレーション



所在地 福岡市西区姪浜駅南1-4-1-202



公式サイト

テーマ

スマホ×Googleフォームで実現するデジタル化への第一歩
月1,000枚のFAXと二重入力から脱却し、現場と事務を一本化

支援前の課題

アナログ業務の限界

手書きとFAXに依存した業務体制で月約1,000枚のFAX処理が発生。コスト増大と非効率性が常態化。

現場のデジタル抵抗

現場スタッフの「手書き文化」への固執が強く、デジタルツール導入への心理的ハードルが高かった。

事務側の二重手間

現場からのFAXを事務側が再入力するダブルワークが常態化し、担当者の負担が大きかった。

支援内容・プロセス

01

現状把握と脱FAXの方針決定

アナログ業務フローを可視化。スマホ完結の報告体制で現場と事務の二重手間解消を目標設定。

02

フォームの要件定義

現場での使いやすさを最優先に、Googleフォームによる物件ごとの作業報告項目の設計を支援。

03

請求書自動作成システム構築

フォームデータをもとに、Apps Scriptで請求書を自動出力するシステムを試作・実装。

04

現場向け操作レクチャー

物件データ管理方法を協議。フォーム連携の不具合修正と、実際の入力から反映までの動作テストに成功。

05

運用確認と機能最終調整

運用開始後のフィードバックを反映。選択肢の自動更新機能など、自走に向けたシステム調整を完遂。

支援後の成果と今後の展望

FAX枚数

大幅減

転記ミス

削減

事務工数

効率化

スマホ活用により現場からの即時入力が可能になり、**転記ミスの削減と事務作業の大幅効率化を実現**。今後は作成したツールを足がかりに、山積する課題を一步ずつ改善していく。

お問い合わせ

[発行]

福岡市経済観光文化局 総務・中小企業部 経営支援課
〒810-8120 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号

[TEL] 092-441-2171

[Mail] keieishien.EPB@city.fukuoka.lg.jp

[委託事業者]

FunTre株式会社